

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	1	
事業名	保育園維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	3	2	4
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	教育総務課		
施策	5-2 教育環境の整備	係名	教育総務係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員保育園・いなべ保育園 みなみ保育園・笹尾第一保育園 笹尾第二保育園・しろやま保育園	目的 (対象がどのような状態になっているか)	保育園施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な保育園づくりを推進します。
事業内容	園舎の維持管理を行います。 (光熱水費・施設修繕・保険料・保守委託 など)			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	施設の不具合に伴う事故件数	0			件		0
2								
3								
4								
5								
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B			22,492	22,422	21,883			
財源内訳	直接事業費 A		19,822	19,686	19,345			
	うち一般財源		19,755	19,682	19,327			
人件費 (千円) B			2,670	2,736	2,538			
内訳	一般職員 (人・千円)		0.35	2310	0.36	2376	0.33	2178
	臨時職員 (人・千円)		0.2	360	0.2	360	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	安全・安心な保育園施設運営を行うため施設、設備の維持管理を行う。	③取組の課題	老朽化する施設に多額の修繕費を要する。
②R3年度に実施した取り組み	事故などを防止するため、保守点検や早急な修繕等を徹底し、施設の長寿命化を図った。(畳の表替えを実施) また、コロナウイルス感染症対策として、水道手動水栓の取り替えを行った。	④今後の改善計画	個別施設計画により計画的な施設改修を行い、施設の長寿命化を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	2	
事業名	施設整備費（保育園）	会計	款	項	目
		一般	3	2	4
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	教育総務課		
施策	5-2 教育環境の整備	係名	教育総務係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員保育園・いなべ保育園 みなみ保育園・笹尾第一保育園 笹尾第二保育園・しろやま保育園	目的 (対象がどのような状態になっているか)	保育園施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な保育園づくりを推進します。
事業内容	園舎の施設整備を行います。 (設計監理、増築改築、大規模改修工事)			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				17,071	0		38,440	
財源 内訳	直接事業費 A			15,883	0		37,252	
	うち一般財源			9,483	0		2,852	
人件費 (千円) B				1,188	0		1,188	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.18	1188	0	0	0.18	1188
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	安全・安心な保育園施設運営を行うため施設、設備の改修を行う。	③取組の課題	老朽化する施設に多額の改修費を要する。
②R3年度に実施した取り組み	令和3年度事業実施なし。	④今後の改善計画	個別施設計画により計画的な施設改修を行い、施設の長寿命化を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	3
事業名	教育総務事務局経費	会計	款	項
		一般	10	1
課目				2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	教育総務課	
施策	5-2 教育環境の整備	係名	教育総務係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	教育委員会 各小学校・各中学校 各幼稚園・保育園	目的 (対象がどのような状態になっているか)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行の点検・評価を行い、効果的な教育行政を推進する。
事業内容	教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況について、点検・評価を行うほか、小中学校の校務用パソコンに係るネットワーク環境整備を行います。 教職員の健康管理や過重労働の把握を行い、必要に応じて面談等を実施します。 修学意欲があるにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な者に対して奨学金を給付します。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
指標	1	教職員の残業時間 (月45時間以上)	125			人		90
	2	教職員の残業時間 (月80時間以上)	7			人		0
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			19,230		30,547	41,171		
財源内訳	直接事業費 A		14,712		25,039	36,125		
	うち一般財源		14,712		24,269	36,124		
人件費 (千円) B			4,518		5,508	5,046		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.63	4158	0.78	5148	0.71	4686
	臨時職員 (人・千円)		0.2	360	0.2	360	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	教育環境の整備を行い、教職員の過重労働を減少させる。	③取組の課題	校務支援システム等、教育環境の整備に多額の費用を要する。
②R3年度に実施した取り組み	教職員の働き方改革を推進するため、いなべ市と校務支援システムの共同利用を開始した。 また、1名の方へ奨学金を給付した。	④今後の改善計画	教育環境の整備を推進するため、校務用パソコン等のリプレイスを行う。 また、保育支援システムの導入を行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	4	
事業名	学校維持管理経費（小学校費）	会計 一般	款 10	項 2	目 1
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	教育総務課		
施策	5-2 教育環境の整備	係名	教育総務係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三和小学校・稲部小学校 神田小学校・笹尾西小学校 笹尾東小学校・城山小学校	目的（対象がどのような状態になっているか）	小学校施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な学校づくりを推進します。
事業内容	校舎の維持管理を行います。 （光熱水費・施設修繕・保険料・保守委託 など）			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	施設の不具合に伴う事故件数	0			件		0
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				57,642	77,157		56,701	
財源内訳	直接事業費A			55,038	74,421		54,163	
	うち一般財源			54,996	74,358		49,158	
人件費（千円）B				2,604	2,736		2,538	
内訳	一般職員（人・千円）		0.34	2244	0.36	2376	0.33	2178
	臨時職員（人・千円）		0.2	360	0.2	360	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	安全・安心な学校施設運営を行うため施設、設備の維持管理を行う。	③取組の課題	老朽化する施設に多額の修繕費を要する。
②R3年度に実施した取り組み	事故などを防止するため、保守点検や早急な修繕等を徹底し、施設の長寿命化を図った。また、GIGAスクール構想の推進のため、普通教室へプロジェクター等の導入を行った。	④今後の改善計画	個別施設計画により計画的な施設改修を行い、施設の長寿命化を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	5	
事業名	施設整備費（小学校費）	会計	款	項	目
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	一般	10	2	1
施策	5-2 教育環境の整備	課名	教育総務課		
		係名	教育総務係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三和小学校・稲部小学校 神田小学校・笹尾西小学校 笹尾東小学校・城山小学校	目的（対象がどのような状態になっているか）	小学校施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な学校づくりを推進します。
事業内容	校舎の施設整備を行います。 （設計監理、増築改築、大規模改修工事）			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				81,862	89,462		47,062	
財源内訳	直接事業費A			79,552	86,360		44,950	
	うち一般財源			10,198	51,212		23,350	
人件費（千円）B				2,310	3,102		2,112	
内訳	一般職員（人・千円）		0.35	2310	0.47	3102	0.32	2112
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	安全・安心な学校施設運営を行うため施設、設備の改修を行う。	③取組の課題	老朽化する施設に多額の改修費を要する。
②R3年度に実施した取り組み	施設の長寿命化を図るため、笹尾西小学校の体育館屋根塗装工事や神田、笹尾東小学校の照明設備のLED化を行った。また、新たに稲部小学校に特別支援教室を設置した。	④今後の改善計画	個別施設計画により計画的な施設改修を行い、施設の長寿命化を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	6	
事業名	学校維持管理経費（中学校費）	会計	款	項	目
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	一般	10	3	1
施策	5-2 教育環境の整備	課名	教育総務課		
		係名	教育総務係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員第一中学校 東員第二中学校	目的 (対象がどのような状態になっているか)	中学校施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な学校づくりを推進します。
事業内容	校舎の維持管理を行います。 (光熱水費・施設修繕・保険料・保守委託 など)			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	施設の不具合に伴う事故件数	0			件		0
2								
3								
4								
5								
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				28,529	37,240		25,140	
財源内訳	直接事業費 A			25,727	34,570		22,602	
	うち一般財源			25,613	34,570		22,602	
人件費 (千円) B				2,802	2,670		2,538	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.37	2442	0.35	2310	0.33	2178
	臨時職員 (人・千円)		0.2	360	0.2	360	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	安全・安心な学校施設運営を行うため施設、設備の維持管理を行う。	③取組の課題	老朽化する施設に多額の修繕費を要する。
②R3年度に実施した取り組み	事故などを防止するため、保守点検や早急な修繕等を徹底し、施設の長寿命化を図った。また、GIGAスクール構想の推進のため、普通教室へプロジェクター等の導入を行った。	④今後の改善計画	個別施設計画により計画的な施設改修を行い、施設の長寿命化を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	7	
事業名	施設整備費（中学校費）	会計	款	項	目
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	一般	10	3	1
施策	5-2 教育環境の整備	課名	教育総務課		
		係名	教育総務係・中学校建設係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員第一中学校 東員第二中学校	目的（対象がどのような状態になっているか）	中学校施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な学校づくりを推進します。
事業内容	校舎の施設整備を行います。 （設計監理、増築改築、大規模改修工事） 東員第一中学校の移転整備事業（新設）を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				45,281	40,732		78,314	
財源内訳	直接事業費A			39,341	34,594		71,120	
	うち一般財源			14,483	6,500		3,120	
人件費（千円）B				5,940	6,138		7,194	
内訳	一般職員（人・千円）		0.9	5940	0.93	6138	1.09	7194
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	安全・安心な学校施設運営を行うため施設、設備の改修を行う。 また、東員第一中学校移転整備事業の進捗を図る。	③取組の課題	老朽化する施設の改修及び東員第一中学校移転整備事業に多額の費用を要する。
②R3年度に実施した取り組み	施設の長寿命化を図るため、東員第二中学校の照明設備のLED化を行った。 また、「新・東員第一中学校建設事業基本計画」を策定し、事業の進捗を図った。	④今後の改善計画	個別施設計画により計画的な施設改修を行い、施設の長寿命化を図る。 また、東員第一中学校建設工事基本設計業務、敷地造成基本設計業務を実施し、具体的な事業の進捗を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	8
事業名	幼稚園維持管理経費	会計	款	項
政 策	5 子どもたちの生きる力を育むために	一般	10	4
施 策	5-2 教育環境の整備	課名	教育総務課	
		係名	教育総務係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三和幼稚園・稲部幼稚園 神田幼稚園・笹尾西幼稚園 笹尾東幼稚園・城山幼稚園	目的 (対象がどのような状態になっているか)	幼稚園施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な保育園づくりを推進します。
事業内容	園舎の維持管理を行います。 (光熱水費・施設修繕・保険料・保守委託 など)			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	施設の不具合に伴う事故件数	0			件		0
2								
3								
4								
5								
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				17,314	20,037		18,813	
財源内訳	直接事業費 A			14,644	17,301		16,605	
	うち一般財源			14,644	17,301		16,605	
人件費 (千円) B				2,670	2,736		2,208	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.35	2310	0.36	2376	0.28	1848
	臨時職員 (人・千円)		0.2	360	0.2	360	0.2	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継 続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	安全・安心な幼稚園施設運営を行うため施設、設備の維持管理を行う。	③取組の課題	老朽化する施設に多額の修繕費を要する。
②R3年度に実施した取り組み	事故などを防止するため、保守点検や早急な修繕等を徹底し、施設の長寿命化を図った。 また、笹尾西幼稚園の扉ガラスに飛散防止フィルムを設置した。	④今後の改善計画	個別施設計画により計画的な施設改修を行い、施設の長寿命化を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	9	
事業名	施設整備費（幼稚園）	会計	款	項	目
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	一般	10	4	2
施策	5-2 教育環境の整備	課名	教育総務課		
		係名	教育総務係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三和幼稚園・稲部幼稚園 神田幼稚園・笹尾西幼稚園 笹尾東幼稚園・城山幼稚園	目的（対象がどのような状態になっているか）	幼稚園施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な保育園づくりを推進します。
事業内容	園舎の施設整備を行います。 （設計監理、増築改築、大規模改修工事）			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				2,925	0		18,456	
財源内訳	直接事業費A			2,001	0		17,400	
	うち一般財源			2,001	0		400	
人件費（千円）B				924	0		1,056	
内訳	一般職員（人・千円）		0.14	924	0	0	0.16	1056
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	安全・安心な幼稚園施設運営を行うため施設、設備の改修を行う。	③取組の課題	老朽化する施設に多額の改修費を要する。
②R3年度に実施した取り組み	令和3年度事業実施なし。	④今後の改善計画	個別施設計画により計画的な施設改修を行い、施設の長寿命化を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	10	
事業名	学校給食運営費	会計	款	項	目
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	一般	10	6	3
施策	5-2 教育環境の整備	課名	教育総務課		
		係名	学校給食センター係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の保育園、幼稚園、小学校、中学校の園児・児童・生徒を対象	目的 (対象がどのような状態になっているか)	園児、児童及び生徒が健康で豊かな園・学校生活を送ることができるよう、安全・安心な栄養バランスの摂れた豊かで美味しい給食の提供を進めます。
事業内容	安全・安心な給食を園・学校へ安定的な提供をするため、調理・配送委託業者の選定及び施設運営を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			205,195		245,168		253,476	
財源内訳	直接事業費 A		200,773		241,076		247,800	
	うち一般財源		160,914		163,502		94,540	
人件費 (千円) B			4,422		4,092		5,676	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.67	4422	0.62	4092	0.86	5676
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	子供のアンケート調査などを参考に栄養バランスの取れた献立をできるだけ多く取り入れていく。	③取組の課題	栄養バランスが取れた給食の提供のため人気メニューばかりでないことによる残食が増えたこと。
②R3年度に実施した取り組み	町内小学5年生及び中学2年生にアンケート調査を行い子どもたちのし好に合うメニューでかつバランスのとれた献立の探求を行った。	④今後の改善計画	引き続き栄養バランスが取れた給食の提供を行いながら、残食を減らす献立作成を栄養教諭と検討していく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	15-	11	
事業名	給食センター維持管理経費	会計	款	項	目
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	一般	10	1	3
施策	5-2 教育環境の整備	課名	教育総務課		
		係名	学校給食センター係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	学校給食センター	目的 (対象がどのような状態になっているか)	給食センター施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な給食提供を推進します。
事業内容	今後、老朽化していく施設を長期的な視点に立った整備を行うものであり、約20年先を見通した整備方針を計画し、施設全体の長寿命化を図ります。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				63,022	69,709		57,393	
財源内訳	直接事業費 A			58,600	65,617		51,717	
	うち一般財源			36,875	6,261		12,357	
人件費 (千円) B				4,422	4,092		5,676	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.67	4422	0.62	4092	0.86	5676
	臨時職員 (人・千円)			0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	長寿命化計画に基づき、計画的な設備改修及び修繕等を実施する。	③取組の課題	厨房機器等が高額である。
②R3年度に実施した取り組み	洗浄室及び配送室空調設備の改修工事及び老朽化した設備等の修繕を行った。	④今後の改善計画	厨房機器の機能とコストを考慮して適切な機器の取替を行っていく。